

# IR

第55期第2四半期  
営業のご報告

2018年4月1日～9月30日





株式会社 あじか かしが けい いち  
代表取締役社長 足利 恵一

## 株主のみなさまへ

### 増収増益の決算をご報告申し上げます

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループの第55期 第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の営業の概況および決算等についてご報告申し上げます。

ご高承のとおり、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用・所得環境に緩やかな回復基調が継続して見られたものの、米国の金融政策の影響や、米中貿易摩擦の激化などにより、金融資本市場が不安定な動きとなるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、食品の安全・安心への関心が高まる中で、輸入品や原材料価格は安定して推移したものの、個人消費は緩やかな回復にとどまっており、一定の厳しさを残した経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは『強い国内事業の実現』と『新事業の確立』をテーマとした第11次中期経営計画の初年度をスタートさせ、「営業基盤の拡充と市場開拓」、「商品の研究開発と技術開発およびマーケティング力の強化」、「全社供給体制の強化と効率化」、「品質管理の強化」、「利益構造の改善」、「経営品質・企業価値の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

業務用食品等では、つくば工場の生産品を軸とした新規開拓・深耕拡大を強化してまいりました。また、外食業態やベーカリー市場など、当社としては新たな業態に向けての販売促進活動にも注力してまいりました。これらの結果、調理済み冷凍食品などの自社企画ブランド品、水産物を中心

とした仕入商品などの売上が拡大いたしました。

ヘルスフード事業におきましては、テレビCMや紙媒体、電子媒体などで、ごぼう茶の販売促進・広告宣伝を積極的に行った結果、通信販売の売上が大幅に増加いたしました。また、ドラッグストアなどでの市販品の売上也、新規開拓やインスタプロモーションの強化により、前年同四半期実績を大幅に上回る結果となりました。

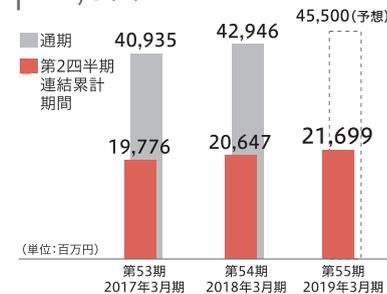
生産面におきましては、鶏卵、椎茸などの当社主要原材料価格が安定して推移したことに加え、省エネ活動や、生産技術の向上による歩留まり率の改善などの原価低減努力を行ってまいりました。しかしながら、竣工から間もないつくば工場の稼働状況や、電力料・水道光熱費の上昇などが製造原価の大きな増加要因となり、製造原価率は上昇しました。

以上の結果より、当第2四半期連結累計期間の売上高は、21,699百万円(前年同四半期比5.1%増加)となり、前年同四半期実績を上回ることができました。営業利益は、414百万円(同17.8%減少)となったものの、デリバティブの時価評価益や為替差益などにより、経常利益は、599百万円(同7.3%増加)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、410百万円(同18.1%増加)となりました。

### ■ 通期業績予想

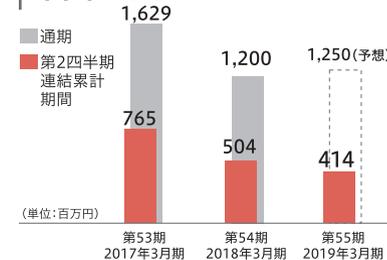
当第2四半期連結累計期間は、販売競争の激化などの影響で、売上高が当初予想を若干下回る結果となりました。また、利益面につきましても、自社工場製造製品の売上高が前年同四半期並みにとどまることで、生産稼働率が想定以下で推移し、営業利益が当初予想を下回る結果となりました。しかしながら、通期の予想につきましては、原材料価格や為替の変動など業績に与える流動的な要素も多いため、当初の業績予想である、売上高45,500百万円、営業利益1,250百万円、経常利益1,300百万円、親会社へ帰属する当期純利益800百万円を見込んでおります。

## 売上高 21,699百万円



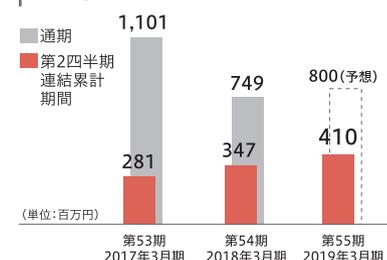
## 営業利益

414百万円



## 親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益

410百万円



(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 第2四半期 連結貸借対照表

| 科 目           | 前連結<br>会計年度  | 当第2四半期<br>連結会計期間 |
|---------------|--------------|------------------|
|               | 2018年3月31日現在 | 2018年9月30日現在     |
| <b>(資産の部)</b> |              |                  |
| 流動資産          | 11,561       | ※1 11,913        |
| 現金及び預金        | 1,465        | 1,387            |
| 受取手形及び売掛金     | 6,567        | 6,561            |
| 商品及び製品        | 2,112        | 2,276            |
| 仕掛品           | 14           | 41               |
| 原材料及び貯蔵品      | 1,071        | 1,243            |
| その他           | 354          | 417              |
| 貸倒引当金         | △ 24         | △ 13             |
| 固定資産          | 12,999       | ※2 13,276        |
| 有形固定資産        | 10,853       | 11,166           |
| 建物及び構築物(純額)   | 4,140        | 4,109            |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,710        | 2,670            |
| 土地            | 3,362        | 3,594            |
| リース資産(純額)     | 89           | 119              |
| その他(純額)       | 550          | 672              |
| 無形固定資産        | 123          | 107              |
| ソフトウェア        | 80           | 70               |
| リース資産         | 12           | 8                |
| その他           | 30           | 28               |
| 投資その他の資産      | 2,023        | 2,002            |
| 投資有価証券        | 1,103        | 1,049            |
| 長期前払費用        | 2            | 0                |
| 繰延税金資産        | 48           | 73               |
| その他           | 909          | 921              |
| 貸倒引当金         | △ 40         | △ 43             |
| 資産合計          | 24,561       | 25,190           |

※1 流動資産は、前連結会計年度末に比べ352百万円増加し、11,913百万円となりました。主な増減要因は、原材料及び貯蔵品の増加172百万円、商品及び製品の増加164百万円、その他に含まれる為替予約の増加127百万円、その他に含まれる未収入金の減少124百万円です。

※2 固定資産は、前連結会計年度末に比べ276百万円増加し、13,276百万円となりました。これは、減価償却の進行に伴う減少要因はありましたが、有形固定資産において、用地取得に伴い土地が増加したことに加え、その他(純額)に含まれる建設仮勘定が増加したためです。

| 科 目            | 前連結<br>会計年度  | 当第2四半期<br>連結会計期間 |
|----------------|--------------|------------------|
|                | 2018年3月31日現在 | 2018年9月30日現在     |
| <b>(負債の部)</b>  |              |                  |
| 流動負債           | 10,264       | ※3 10,609        |
| 支払手形及び買掛金      | 2,827        | 3,356            |
| 短期借入金          | 5,120        | 4,833            |
| リース債務          | 45           | 51               |
| 未払法人税等         | 187          | 235              |
| 賞与引当金          | 306          | 387              |
| 役員賞与引当金        | 51           | 23               |
| その他            | 1,724        | 1,721            |
| 固定負債           | 2,435        | ※4 2,506         |
| 長期借入金          | 2,001        | 2,167            |
| 長期未払金          | 215          | 125              |
| リース債務          | 78           | 97               |
| 退職給付に係る負債      | 85           | 60               |
| 資産除去債務         | 53           | 53               |
| その他            | 1            | 1                |
| 負債合計           | 12,699       | 13,115           |
| <b>(純資産の部)</b> |              |                  |
| 株主資本           | 11,200       | 11,496           |
| 資本金            | 1,102        | 1,102            |
| 資本剰余金          | 1,098        | 1,098            |
| 利益剰余金          | 9,064        | 9,360            |
| 自己株式           | △ 64         | △ 64             |
| その他の包括利益累計額    | 660          | 577              |
| その他有価証券評価差額金   | 411          | 370              |
| 為替換算調整勘定       | 262          | 207              |
| 退職給付に係る調整累計額   | △ 13         | -                |
| 純資産合計          | 11,861       | 12,074           |
| 負債純資産合計        | 24,561       | 25,190           |

※3 流動負債は、前連結会計年度末に比べ345百万円増加し、10,609百万円となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金の増加528百万円、賞与引当金の増加81百万円、短期借入金の減少287百万円です。

※4 固定負債は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、2,506百万円となりました。主な増減要因は、政策的な借入による長期借入金の増加165百万円、取締役の退任に伴う長期未払金の減少89百万円です。なお、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ121百万円減少し、7,001百万円となっています。

## ■ 第2四半期 連結損益計算書

| 科 目              | 前第2四半期<br>連結累計期間         | 当第2四半期<br>連結累計期間         |
|------------------|--------------------------|--------------------------|
|                  | 2017年4月1日～<br>2017年9月30日 | 2018年4月1日～<br>2018年9月30日 |
| 売上高              | 20,647                   | 21,699                   |
| 売上原価             | 15,121                   | 15,885                   |
| 売上総利益            | 5,525                    | 5,814                    |
| 販売費及び一般管理費       | 5,021                    | 5,399                    |
| 営業利益             | 504                      | ※5 414                   |
| 営業外収益            | 82                       | 209                      |
| 営業外費用            | 28                       | 24                       |
| 経常利益             | 559                      | 599                      |
| 特別利益             | 1                        | -                        |
| 特別損失             | 9                        | 10                       |
| 税金等調整前四半期純利益     | 551                      | 589                      |
| 法人税等             | 204                      | 179                      |
| 四半期純利益           | 347                      | 410                      |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 347                      | ※6 410                   |

※5 営業利益は、414百万円(前年同四半期比17.8%減少)で、当初予定を下回る結果となりました。これは、つくば工場の稼働に伴い減価償却負担や諸経費が増加したこと、また、自社工場製造製品を中心とした売上高が前年同四半期並みにとどまることとで、生産稼働率が想定以下で推移したことが影響しました。

※6 鶏卵や椎茸などの当社主要原材料価格が安定して推移したことに加え、想定以上の円安による為替予約の時価評価益などがプラス要因となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、当初予想を上回る、410百万円(前年同四半期比18.1%増加)となりました。

※7 営業活動の結果得られた資金は、1,136百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益589百万円、減価償却費527百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務を合計した運転資本面での資金獲得151百万円、法人税等の支払額148百万円が主な内容となっております。

※8 投資活動の結果使用した資金は、924百万円となりました。これは、用地取得による支出、生産設備の増強投資・メンテナンス投資が主な内容となっております。

※9 財務活動の結果使用した資金は、280百万円となりました。これは長期借入金による収入700百万円、短期借入金の純減少額400百万円、長期借入金の返済による支出421百万円、配当金の支払額114百万円が主な内容となっております。

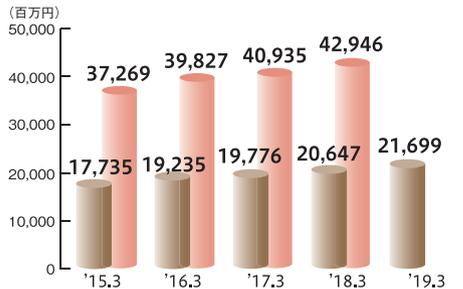
## ■ 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

| 科 目                 | 前第2四半期<br>連結累計期間         | 当第2四半期<br>連結累計期間         |
|---------------------|--------------------------|--------------------------|
|                     | 2017年4月1日～<br>2017年9月30日 | 2018年4月1日～<br>2018年9月30日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | △799                     | ※7 1,136                 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △1,489                   | ※8 △924                  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | 1,582                    | ※9 △280                  |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △711                     | △78                      |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 1,617                    | 1,455                    |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高    | 906                      | 1,377                    |

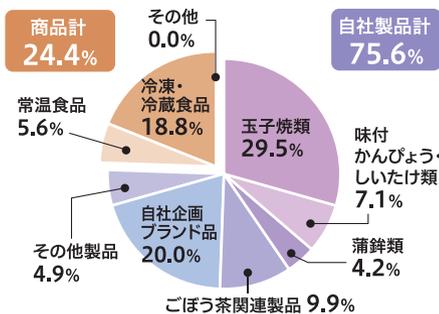
注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結業績の推移

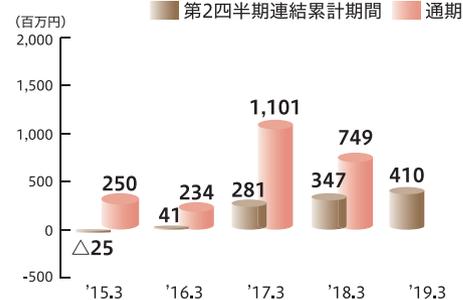
### 売上高



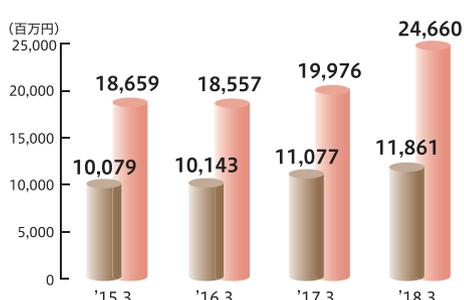
### 売上構成比('19年3月期 第2四半期連結累計期間)



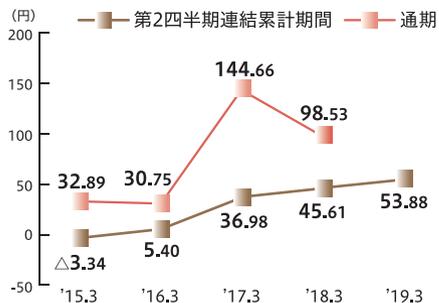
### 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益(損失△)



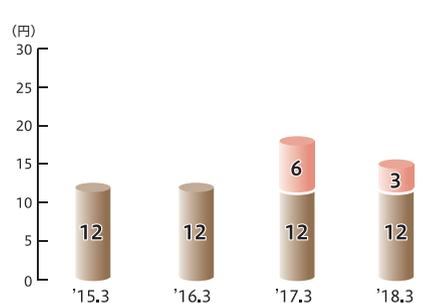
### 総資産・純資産



### 1株当たり当期(四半期)純利益(損失△)



### 1株当たり配当金



注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株価・出来高の推移

### (円) [株価推移]



### (千株) [出来高推移]



### 日経平均株価とあじかん株価の推移の比較



# IR Information

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 (定時株主総会) 3月31日  
(期末配当) 3月31日  
(中間配当) 9月30日(当期中間配当は未実施)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 上場証券取引所 東証2部
- 公告の方法 電子公告  
(公告掲載URL) <http://www.ahjikan.co.jp/>  
※やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、  
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

### 【ご注意】

1. 株主さまの住所変更など各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でも、お取次ぎいたします。
3. 未受額の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で、お支払いいたします。

### 会社概要

商 号 株式会社あじかん (AHJIKAN CO.,LTD.)  
 設 立 年 月 日 1965年3月19日 (創業 1962年)  
 主要な事業内容 鶏卵加工製品・野菜加工製品・水産練製品・その他食品の  
 製造、販売、および卸売、農産物の生産、販売



- 小誌についてのご意見は『膳』P.18のお便りコーナーまでお寄せください。●